

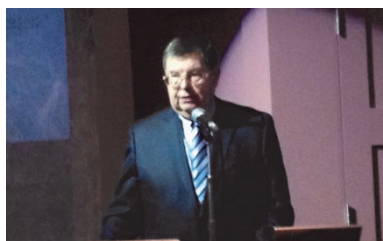
## 制裁下・動乱のロシア経済とビジネスチャンス

アドバンストマテリアルジャパン主催  
2015年3月4日 学士会館

3月4日、当社主催のロシアビジネス交流会が開催された。登録時点で、参加者は約80社120名を集め、ロシア連邦からも、大使みずからご挨拶を述べる機会となり、両国の注目・期待の高さがうかがえた。講演会は、タイトなプログラムにも関わらず、トリを取った当社代表の中村の講演まで、熱心に耳を傾ける姿が目立った。プログラム終了後、在日ロシア連邦大使館学校の児童たちによる、ロシア民謡が披露され、交流会に華を添えた。



はじめに、アフアナシエフ大使からご挨拶を頂戴した。今回の交流会の開催に謝意を示され、また、難しい情勢ではあるものの、日本とロシアは隣国であることに変わりはなく、極東開発もふくめた、相互的な協力関係の醸成への期待をお話しになった。その後、講演会に先立って、外務省 欧州局日



(写真:アフアナシエフ大使)

露経済室から室長の石川誠己様、経済産業省 通商政策局ロシア・中央アジア・コーカサス室から、室長補佐の皮籠石直征様からご挨拶を頂戴した。

講演会では、丸紅でロシアビジネスに長く従事し、モスクワの日本センター長も務めた朝妻幸雄氏が、国際世論の偏りや、最近のロシア国内の経済事情について豊富なデータで解説した。そのうえで、昨今の事情が日本企業にとって大きなチャンスであることを強調した。

つづいて、みずほ総合研究所の金野雄吾氏は、原油価格下落がロシア経済に与える影響の、詳細な分析を示した。デフォルトリスクは限定的であるが、連邦予算は縮小となり、今後のロシア経済のマイナス成長の見通しまで、客観的に分析した。

トランスロシアエージェンシーの浦塚敏彦社長は、海運・物流面からみたロシアビジネスの可能性を述べ、ロシア市場の高付加価値化、ロシアの輸出競争力等、独自の視点で期待を展開した。

ロシア鉱業界からは鉱山会社MBCコーポレーション、貴金属精錬大手のEZOCM社が講演した。ロシア鉱業とMBCコーポレーションの鉱山開発の進捗、また、あらためて、ロシアの冶金技術の高さを印象付けた。その後も、ロシアNIS貿易会のロシアの坂口泉氏が石油・ガス資源の現状や展望を、アーガスメディアの三田真己氏はロシア石炭資源のポテンシャルの高さを話した。

最後に当社代表中村繁夫から、ロシア経済危機を「Perfect storm」と形容し、そのなかでもロシア鉱業界が抱えているポジティブな印象を話した。とりわけ、輸出が主体となるグローバル企業にとって、つよく輸出ドライブがかかっているこ

と、中小の企業では、ファイナンス面に不安があるものの、商社機能をいかした、リスクを管理しながらの安定したビジネスの可能性について展開した。

今回のロシアセミナーでは、上記のように広い分野のスペシャリストに講演いただき、また、企画段階から多くの専門家ともお話しする機会を得た。総じて、ロシア連邦という国への誤解、また制裁等は日本にとっては大きなビジネスチャンスであることを、再認識させられた。当社としては、今後も、ロシア企業との交流を深め、両国の経済的な友好をはぐくんでいきたい。

(文責; 共田)



(写真:エゴロフ在日ロシア連邦通商代表部首席代表)



(写真:ロシア大使館学校の子供たち)

### 《開催概要》

「制裁下・動乱のロシア経済とビジネスチャンス」

日時 2014年3月4日 於 学士会館

主催 アドバンストマテリアルジャパン

後援 ロシア連邦通商代表部

ロシアNIS貿易会、株式会社JSN

### 主な来賓

アフアナシエフ 駐日ロシア連邦特命全権大使

エゴロフ 在日ロシア連邦通商代表部首席代表

石川誠己 外務省 欧州局日露経済室 室長

皮籠石直征 経産省 ロシア・中央アジア・コーカサス室室長補佐